

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 3 号	氏名	高木 幸則
学位審査委員	主 査 朝比奈 泉 副 査 村田 比呂司 副 査 池田 通		
論文審査の結果の要旨 1 研究目的の評価 本研究は、シェーグレン症候群の診断への有用性が報告されている MRI を用い、定量的診断基準の確立を目指したもので、その目的は十分に妥当である。 2 研究手法に関する評価 十分な数の症例数を用い、定量評価を行うために高分解能撮像が可能なマイクロスコープコイルを使用する工夫がなされている。また、撮像手法、条件などにも統一性が重視されている。更に回帰分析、ROC 解析など種々の統計学的解析を用い、客観的評価を行っており、研究手法も妥当である。 3 解析・考察の評価 高分解能マイクロスコープコイルによる定量評価は、シェーグレン症候群によりダメージを受けた唾液腺の有効な評価法であることを明らかにした。この方法はシェーグレン症候群の画像診断の主流になっていくことが予想され、診断能の向上へ寄与することが大いに期待される。 以上のように本論文はシェーグレン症候群の診断の進歩に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（歯学）の学位に値するものと判断した。			